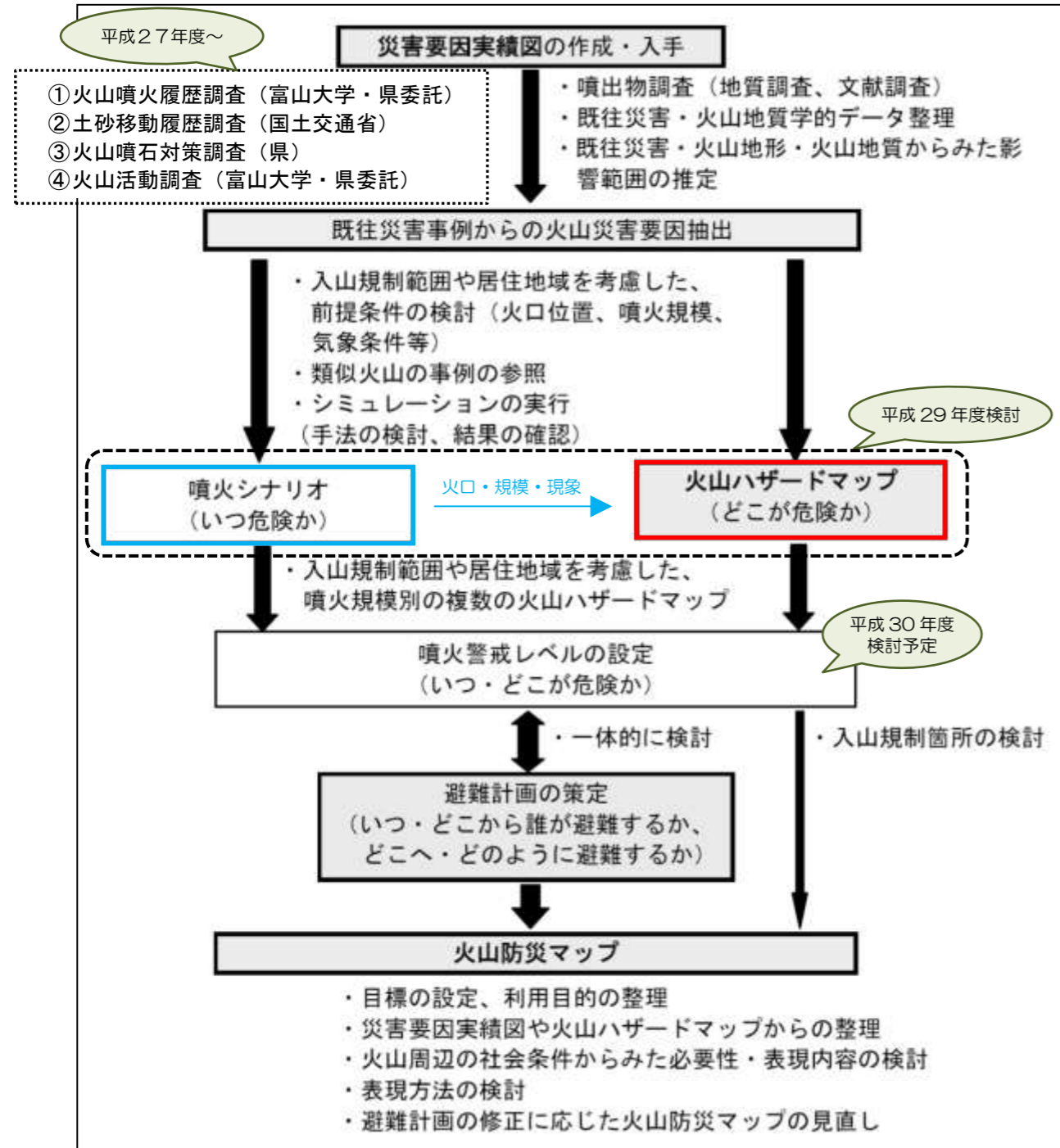


○ 概要

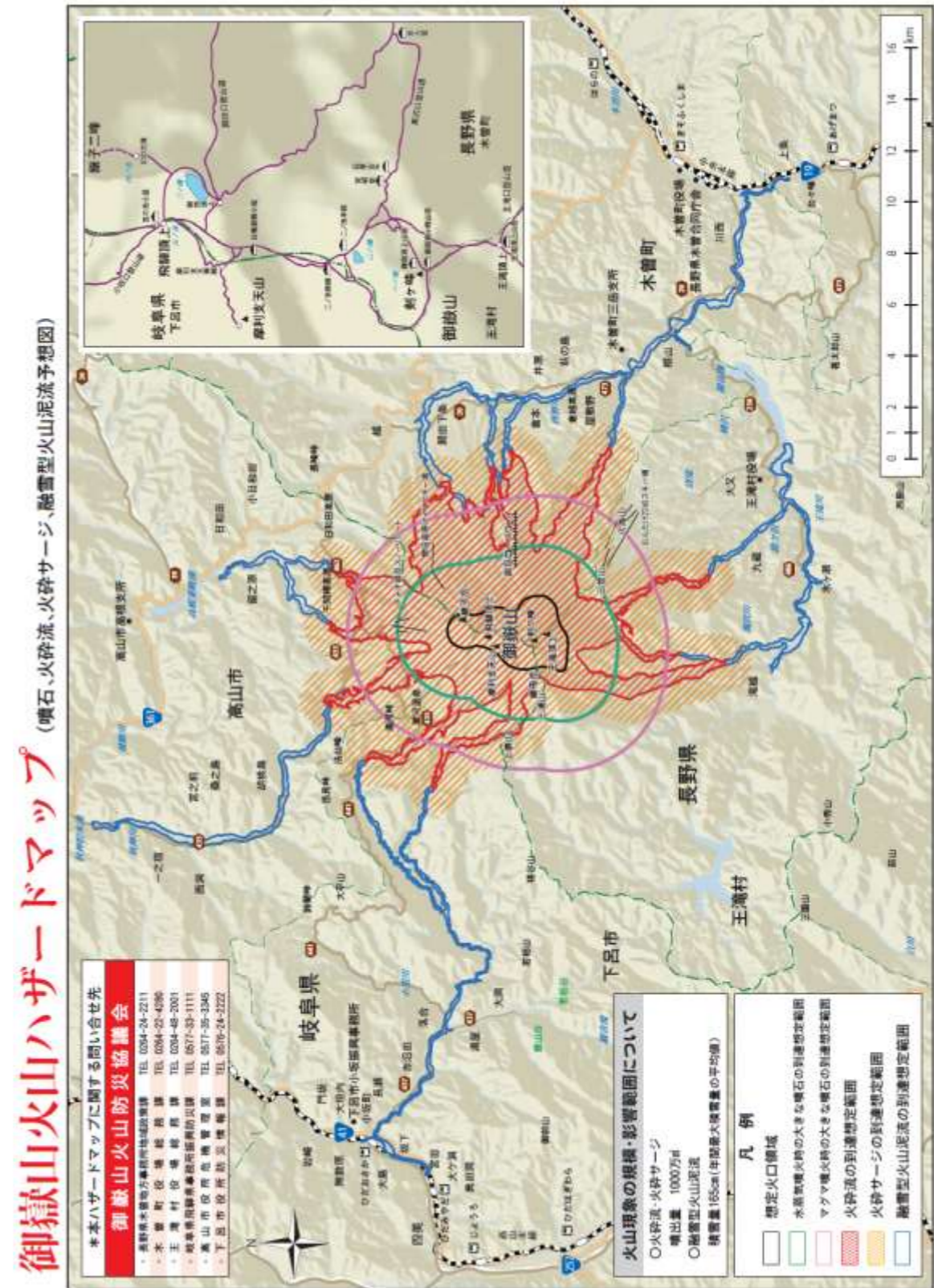
- これまでの取組みを踏まえ平成29年度は、噴火シナリオと火山ハザードマップの検討を進めている。
- 「噴火シナリオ」は、想定される火山現象及びその規模、影響範囲の推移を時系列として示したもの。
- 「火山ハザードマップ」は、火山現象ごとに影響が及ぶおそれのある範囲を描画したもの。
- 火山防災マップの作成に向けて、噴火警戒レベルや具体的な避難計画の検討を進める予定

<参考>

※御嶽山における例（火山ハザードマップ）



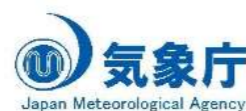
出典：「火山防災マップ作成指針」内閣府（防災担当），消防庁，国土交通省水管理・国土保全局砂防部，気象庁，2013.3 に加筆



※御嶽山における例（噴火警戒レベル）



本図は、植物性インクを使用しています。



気象庁地震火山部火山課 火山監視・情報センター
 TEL: 03-3212-8341 (内線4536) <http://www.jma.go.jp/>
 ■長野地方気象台
 TEL: 026-232-3773 <http://www.jma-net.go.jp/nagano/>
 ■岐阜地方気象台
 TEL: 058-271-4108 <http://www.jma-net.go.jp/gifu/>

平成20年3月31日運用開始

御嶽山の噴火警戒レベル

予報 警報	対象 範囲	レベル (1-5)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火が発生し、大きな噴石や溶岩流や火砕流（積雪期には融雪型火山泥流）が居住地域に到達、あるいはそのような噴火が切迫している。 過去事例 有史以降の事例なし
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者等の避難等が必要。	●噴火活動の高まり、有感地震多発や顕著な地殻変動等により、大きな噴石や溶岩流、火砕流（積雪期には融雪型火山泥流）が居住地域に到達するような噴火の発生が予想される。 過去事例 有史以降の事例なし
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	●大きな噴石の飛散が1kmを超える噴火が発生すると予想されるが、概ね4kmを超える範囲に重大な影響を与える噴火が発生する可能性はないと予想される。 過去事例 1979年10月28日：剣ヶ峰南西側斜面（79-1～10火口）で噴火。噴煙の状況から、大きな噴石の飛散が1kmを超える可能性があるとする。ただし、4kmを超える範囲に重大な影響を与える噴火に、すぐには移行しないと予想 ●大きな噴石が1km以上飛散する。ただし、概ね4kmを超える範囲に重大な影響を与える噴火は発生しないと予想される。 過去事例 有史以降の事例なし
		2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	●地震活動の高まりや地殻変動等により、小規模噴火の発生が予想される。 過去事例 2007年3月後半：79-7火口でごく小規模な噴火が発生し、北東側200m範囲に降灰 2006年12月～2007年2月：山頂部直下でわずかな山体膨張及び火山性地震・微動の増加 1991年5月中旬：79-7火口でごく小規模な噴火が発生し、東側200m範囲に降灰 1991年4月～7月：火山性地震・微動の増加 ●小規模噴火が発生し、火口から約1km以内に大きな噴石が飛散する。 過去事例 有史以降の事例なし
噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。 （現在、地元自治体が火口から概ね1kmまで立入規制中）	●火山活動は静穏、状況により山頂火口内及び近傍に影響する程度の噴出の可能性あり。

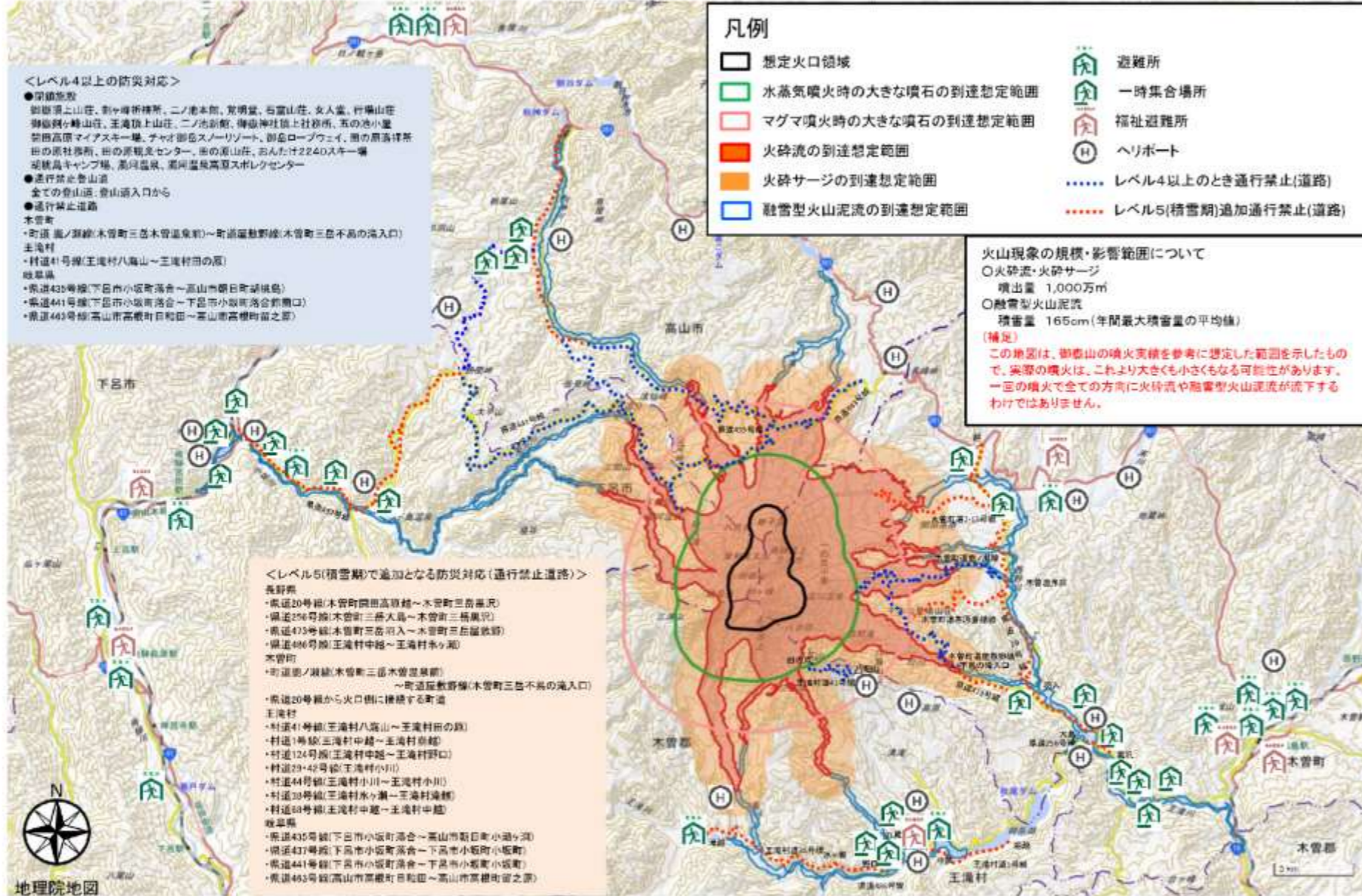
注1）ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとする。
 注2）噴火警戒レベルは、火山ガスに関する規制とは異なる。
 ※このレベル表は地元市町村等と協議して作成したものです。各レベルにおける具体的な規制範囲等については地域防災計画等で定められています。
 ■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧いただけます。
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

平成20年6月

御嶽山火山防災マップ

【噴火警戒レベル4・5】

（平成28年8月1日現在）



噴火に備えて

○御嶽山は活火山です。
概ね過去1万年以内に噴火した火山および現在活発な噴気活動のある火山を「活火山」と定義しています。
御嶽山では、1979(昭和54)年噴火以前の歴史記録に残る噴火は発見されていませんが、山頂南西の地獄谷における噴気活動は、最近数百年間は継続しています。
1979年の剣ヶ峰の南側で水蒸気噴火が発生して以降、1991(平成3)年、2007(平成19)年にもごく小規模の水蒸気噴火が発生し、2014(平成26)年9月27日に水蒸気噴火が発生しました。

○御嶽山の活動状況をチェックしましょう。
火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や避難等の必要に応じて5段階(レベル1～5)に区分した噴火警戒レベルが導入されています。レベルの段階に関わらず、気象庁からの情報には常に注意しましょう。

<噴火警戒レベル>

予報 警戒 レベル	対象 範囲	噴火警戒レベルと キーワード	火山活動時の状況	住民等の行動 及び登山者・入 山者への対応
噴火 警戒 レベル	居住 地域 及び それ より 火口 側	5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
		4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。
火口 周辺 警戒 レベル	火口 周辺	3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて要配慮者の避難準備等。登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等。
		2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。
噴火 予報	火口 内等	1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。

○立入禁止や避難に関する情報に従ってください。
御嶽山の火山活動が活発になると、レベルに応じて、市町村では立入を禁止する区域を設定したり避難に関する情報を出しますので、その内容に従ってください。
・レベル1:状況に応じて、立入を禁止する区域の設定
・レベル2、3:立入を禁止する区域の設定
・レベル4:避難準備情報の発令
・レベル5:避難勧告又は避難指示の発令

お願い

- ・登山計画書(登山届)は必ず提出しましょう。
- ・入山前に、規制状況などを市町村に確認しましょう。

凡例に示す火山現象



噴石(1983年 三宅島)

噴石
噴火に伴って、火口から吹き飛ばされる固形物で、時には、火口から数km程度まで飛散することがあります。大きさにより、風の影響の程度が違い飛散範囲が大きく異なることから、気象庁では、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」と「風に流されて降る小さな噴石」に区別しています。

火砕流
火山灰や岩塊、火山ガスや水蒸気などが一体となって急速に山体を流下する現象です。時速数十kmから数百kmで流れることが多く、温度は数百度にも達します。



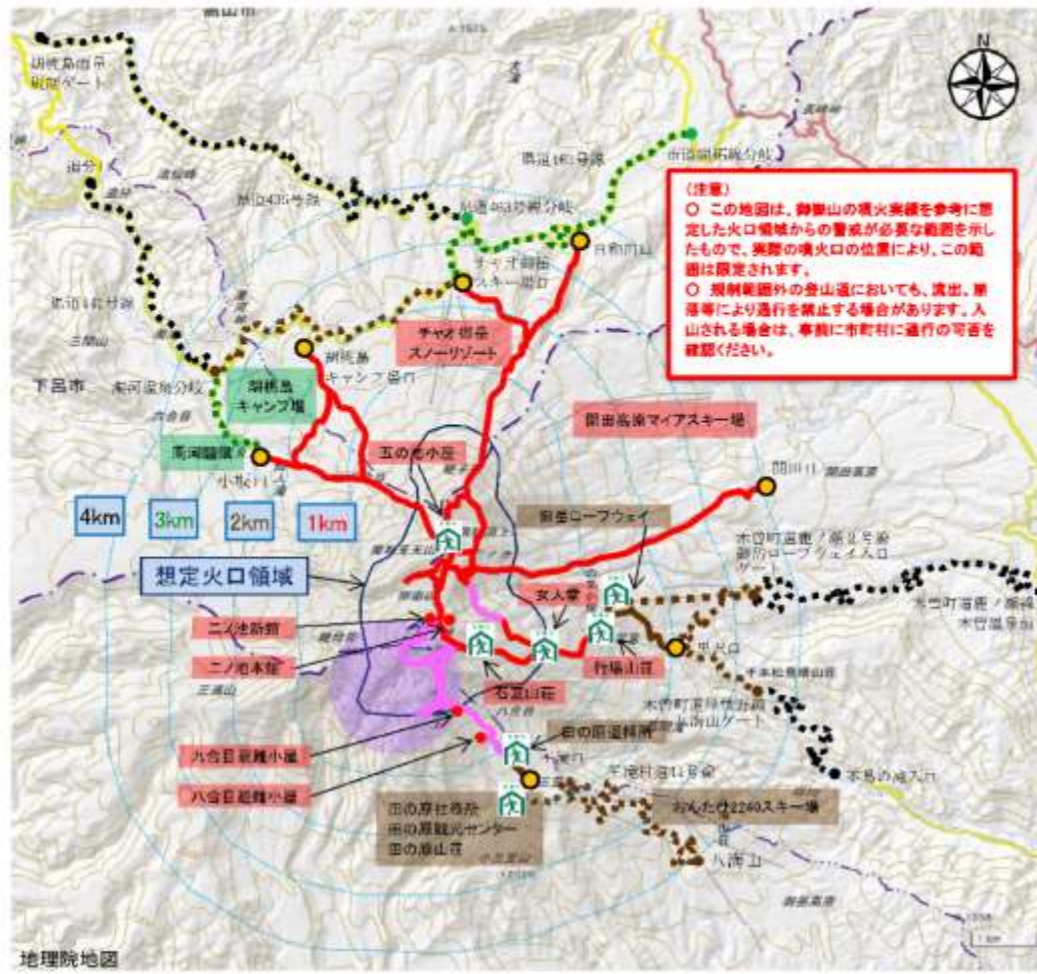
火砕流、火砕サージ(2000年 三宅島)

火砕サージ
火砕流の先端や周辺では、熱い空気や火山ガス等の気体と、火山灰等が混じって高温・高速の流れとなります。密度が小さく、地形の影響を受けにくいので、火砕流の本体よりも遠方まで到達します。

融雪型火山泥流
雪が山頂付近に積もっている時期に噴火に伴い高温の火砕流などが発生すると、その熱により雪が融け、土砂、火山灰等と一緒に斜面を高速で流れ下る現象です。

【噴火警戒レベル2・3】

(平成28年8月1日現在)



- <凡例>**
- 警戒が必要な範囲(立入禁止)
 - 通行禁止(登山道)
 - レベル2(1km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
 - レベル3(2km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
 - レベル3(3km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
 - レベル3(4km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
 - レベル2(1km警戒)以上のとき施設閉鎖
 - レベル3(2km警戒)以上のとき施設閉鎖
 - レベル3(3km警戒)以上のとき施設閉鎖
 - レベル3(4km警戒)以上のとき施設閉鎖
 - 緊急避難場所
 - 登山口(緊急車両待機場所)
- <レベル2(火山周辺規制1km)以上の防災対策>**
- 登山道閉鎖
 - 御嶽山上山道、御嶽山北山道、二ノ池山道、丸山山道、石室山山道、女人堂、行場山道、御嶽山南山道、土湯山山道、二ノ池山道、御嶽神社頂上社務所、五の池山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 通行禁止
 - 三ノ池山道、五の池山道、五の池山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 施設閉鎖
 - 三ノ池山道、五の池山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
- <レベル3(火山規制2km)で追加となる防災対策>**
- 登山道閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 通行禁止
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 施設閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
- <レベル3(火山規制3km)で追加となる防災対策>**
- 登山道閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 通行禁止
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 施設閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
- <レベル3(火山規制4km)で追加となる防災対策>**
- 登山道閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 通行禁止
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道
 - 施設閉鎖
 - 御嶽山南山道、御嶽山北山道、御嶽山南山道、御嶽山北山道

避難対象地区及び避難先

避難対象地区	一時集合場所	避難ルート	避難所施設名	福祉避難所施設名
一之宿	一之宿公民館	県道435→国道361	燦燦朝日館 朝日小学校体育館	朝日福祉センター
桑之島	上西洞公民館			
西洞	下西洞公民館			
胡桃島				

孤立対象地区

噴火時の通行規制に伴う孤立対象地区

市町村	孤立対象地区	孤立時期
高山市(朝日町)	鈴蘭高原	噴火警戒レベル5発表時(積雪期)

※実際の火山活動の状況や通行規制の実施状況により、孤立対象地区が異なる場合があります

関係機関連絡先

- 緊急時連絡先
 - 高山警察署 0577-32-0110
 - 高山市消防本部 0577-32-0119
- 関係機関連絡先
 - 気象庁 03-3212-8341(代表)
 - 岐阜地方気象台 058-271-4107、長野地方気象台 026-232-2034
 - 高山市危機管理室 0577-32-3333(代表)
 - 岐阜県防災課 058-272-1111(代表)
 - 岐阜県飛騨県事務所振興防災課 0577-33-1111(代表)

火山情報を知るには

- 火山に関する情報
 - 気象庁「御嶽山の活動状況」
- 御嶽山の最新画像
 - 国土交通省中部地方整備局 多治見砂防国道事務所 ライブカメラ



●噴火速報提供サービス

Yahoo! JAPANが提供するサービス

- Yahoo!防災速報
- Yahoo!ニュースアプリ
- Yahoo! JAPANアプリ
- Yahoo! JAPANニュースページ

日本気象株式会社 が提供するサービス

- お天気ナビゲーション
- 噴火速報アラート

●緊急性の高い情報
噴火など緊急性の高い情報は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)など、様々な手段で住民の皆さん、登山者、観光客に伝えられます。テレビやラジオ、情報端末などを活用し情報収集に努めてください。

作成者：高山市・御嶽山火山防災協議会

<避難ルート図:噴火警戒レベル4・5での対応>

